

第33回全日本実業柔道個人選手権大会・報告書

第33回全日本実業柔道個人選手権大会は、8月30、31の両日、兵庫県尼崎市記念公園総合体育館で開催された。男子8種目(7

体重別と22歳未満の部)に502人、女子7種目96人の計598人がエントリーして連日4試合場で激しい戦いが展開された。

初日の男子は、この大会から体重を上げた66kg級の内柴正人3段(旭化成)が決勝で一昨年の覇者・須藤英雄4段(ダイコロ)を下し初優勝を飾った。60kg級の伊藤恭規4段(総合警備保障)、73kg級の新鋭松原豊3段(セコム)、81kg級の野瀬英豪4段(了徳寺学園)ともに初優勝を遂げた。

女子は、前年シードされながら欠場した濱野千穂2段(肥後銀行)が48kg級で初制覇。また、前年57kg級決勝でV3を逸した岡崎綾子3段(ミキハウス)も、今回体重を下げての52kg級挑戦に成功した。57kg級は昨年岡崎に敗れ3位だった岩藤理恵初段(三井住友海上)がわざわざかな一本勝ちを決め、初優勝を手にした。

新人登竜門の男子22歳未満の部は、永野稔和2段(三菱重工業・名古屋)が連続一本勝ちで優勝した。

最終日は男子90kg級で、斉藤制剛3段(旭化成)が払い腰で筒井友和4段(セコム)を破り、今大会男女合わせて唯一の2年連続2度目の覇者となった。100kg級では筒井宏樹4段(平成管財)の出足払いが冴え、100kg超級も生田秀和4段(総合警備保障)が過去V2のキャリアを持つ江上忠孝4段(九州電力)を横四方固めに決め、それぞれ初優勝した。

女子は63kg級の上野順恵初段(三井住友海上)が1999パーミングラム世界選手権金メダルの前田桂子3段(ミキハウス)から有効を奪い逃げ切った。70kg級の古賀幸恵2段(ミキハウス)もアトランタオリンピック代表だった一見理沙2段(コマツ)に効果勝ち。78kg級の森島直美2段(セコム)は昨年Vの栗原美幸2段(コマツ)に技あり。78kg超級は初出場の小松崎弘子2段(自衛隊体育学校)が中野公洋子3段(セコム)を負傷欠場により不戦勝ち。以上4人とも初優勝を飾った。



開会式で挨拶する阿南惟正大会委員長



全国各地から出場した選手が集う開会式



柔道ルネッサン啓蒙のスピーチをする三谷浩一郎日本道院公園監督



選手宣誓する貝山選手(三井住友海上)

男子100kg超級 ”待望生田55秒一本勝ち初V“

25歳の生田と27歳ベテラン江上。立ち合いは生田が慎重。江上には十八番の袖釣り込み腰があるからだ。その江上、開始29秒で奥えりを狙って来た。が、出してきたのは、もう一つの得意技左大内刈りだった。準決勝でも松山を37秒の速攻で切り捨てた伝家の宝刀である。しかし、これを予期していたのだろう。生田は、とっさの右小外掛けて返せば、あびせ倒しの形となって有効。そのまま生田得意の抑え込みに入る。横四方から上四方固めでがっちり。速攻の55秒でうれしい初優勝を飾った。



優勝した生田選手
(総合警備保障)

生田の話 今日自分の柔道が出来たと思う。江上さんには5連敗していたので何としても勝ちたかった。去年は腰を痛めたりスタミナに不安があったり散々だったが、今はもう大丈夫。これからは一つ一つ目の前の試合を乗り越えて行きたい。まずは、11月の講道館杯を制して、更に上を狙いたい。

【成績】

優勝 生田秀和 (総合警備保障)

準優勝 江上忠孝 (九州電力)

第3位 軒沢優太 (了徳寺学園)

第3位 松山 毅 (旭化成)

▽準々決勝

○軒沢 内股 堀内 (ダイコク)

○生田 内股 円井 (日本中央競馬会)

○松山 大腰 村越 (総合警備保障)

○江上 合わせ技 下出 (旭化成)

▽準決勝

○生田 縦四方固 軒沢

○江上 大内刈 松山

▽決勝

○生田 上四方固 江上

男子100kg級 ”出会い一瞬 筒井出足払い初V“

左の深川対右の筒井。けんか四つのため、組み手争いが続く。開始43秒で両者指導。その後も足技の応酬はあるが、1分18秒注意。1分33秒には筒井が口の内側を押えて少時タイム。再開後、足技応酬あるものの依然として進展に乏しく、2分20秒ついに両者警告のピンチ。残りまだ2分40秒もあることから、これは両者反則負け優勝者なしという過去に例を見ない最悪のケースも予測された。

しかし、警告宣告の直後、事態は急転。深川が思い切って出るはなを筒井右から払えば見事に一本。2分25秒、一瞬の出会いがしらだった。



優勝した筒井選手
(平成管財)

筒井の話 右肘内側靭帯の故障で万全な調子ではなかったが、試合中は全く気にならなかった。良い形で優勝したいと思っていたので勝ててうれしい。今回はあくまでもオリンピック代表を狙う一つの前提なので、次の講道館杯でも優勝を狙いたい。課題はもっと精神面を鍛える事。

【成績】

優勝 筒井宏樹 (平成管財)

準優勝 深川幸太郎 (日本道路公団)

第3位 大金良二 (ダイコク)

第3位 近藤秀作 (日本道路公団)

▽準々決勝

○大金 注意 坂本 (國學院柔道クラブ)

○深川 払腰 中村 (旭化成)

●筒井 優勢勝ち 松本 (了徳寺学園)

○近藤 不戦勝

▽準決勝

○筒井 腕緘 近藤

○深川 小外掛 大金

▽決勝

○筒井 出足払 深川

男子90kg級 ”斉藤制剛 払い腰で2連覇“

右の斉藤、左の筒井。1分43秒には両者注意まで来たが、流れは先に引き手を取る斉藤が内股などでリード。筒井は右ひざをやや故障したかに見える。時間ぎりぎりの4分20秒、まず斉藤の支え釣り込み足が低い体勢で決まって効果。続いて4分40秒に払い腰が見事に決まって、実力発揮の2連覇を達成。



優勝した斉藤選手
(旭化成)

斉藤の話 優勝は狙っていた。これをステップに講道館杯に臨みたい。左組みの相手に対する組み手が3と4割しか出来なかったが、右組み相手には追い込め、6と7割は出来たと思う。これから一つ一つ大切に勝ち続けたい。

【成績】

優勝 斉藤制剛 (旭化成)
準優勝 筒井友和 (セコム)
第3位 野田健太郎 (福岡大学柔道クラブ)
第3位 草刈基明 (京葉ガス)

▽準々決勝

○斉藤 腕絨 久米川 (東芝)
●野田 優勢勝ち 小川 (総合警備保障)
●筒井 優勢勝ち 二村 (新日鐵広畑)
●草刈 優勢勝ち 高橋 (新日鐵広畑)

▽準決勝

○斉藤 腕挫腹固 野田
○筒井 小外刈 草刈

▽決勝

○斉藤 払腰 筒井

男子81kg級 ”野瀬 左内股技ありで初V“

互いに組み手不十分の塘内と野瀬。開始27秒、同1分21秒に消極的な両者に指導と注意が与えられた。中盤から野瀬が引き手を取り始める。これに応じようと塘内が前に出たところ、野瀬タイムングよい低めの左内股にうまく入って技あり。3分25秒。当然、塘内は猛反撃に出るが、野瀬ラストまでしつこく体を寄せて攻めさせない。時間切れとなり、野瀬うれしい初優勝。



優勝した野瀬選手
(了徳寺学園)

野瀬の話 去年惨敗したので今回は当然優勝を狙っていた。今はトップになることしか考えていない。もちろんアテネオリンピックが目標。左内股にこだわらない柔道を中心に掛けている。今日は塘内さんに大内刈りから内股に変化して成功した。

【成績】

優勝 野瀬英豪 (了徳寺学園)
準優勝 塘内将彦 (旭化成)
第3位 三矢 諭 (日本道路公団)
第3位 坂本道人 (ダイコロ)

▽準々決勝

●塘内 優勢勝ち 長久保 (慶應義塾大学)
●三矢 優勢勝ち 田中 (ダイコロ)
●坂本 優勢勝ち 石橋 (旭化成)
○野瀬 内股 相牟田 (自衛隊体育学校)

▽準決勝

○塘内 内股 三矢
○野瀬 腕挫腕固 坂本

▽決勝

○野瀬 優勢勝ち 塘内

男子73kg級 ”左右技の松原が初制覇“

前年3位の松原はシードの一角だ。快調に飛ばして決勝へ躍り出た。24歳の坊主刈りがフレッシュ感に溢れている。左の山本に対して38秒組みぎわの右大内刈り有効。この先制の一撃が勝負を左右した。開始28秒両者指導を受けた直後だった。なおも松原、右背負いで山本を大きく浮かせるが引き手不十分で惜しくも決まらず。山本反撃の内股も松原返し技で応じ、場外歓声あがる。松原左大内から背負いへの変化。残り1分10秒、山本右差しで一気に逆転狙うが松原さばく。残り16秒、松原左大内刈り。見ごたえ十分な両者の攻防だった。



優勝した松原選手
(セコム)

松原の話 得意技は担ぎ技で左右の袖釣り込み腰、背負い投げ。良くかかるのは左だが右大内刈りは体が反応した。講道館杯に良い繋がりになればと思う。この体育館は学生体重別団体が優勝するなど、縁起の良い会場だ。

【成績】

優勝 松原 豊 (セコム)
準優勝 山本 武 (総合警備保障)
第3位 森本純矢 (総合警備保障)
第3位 荒平佳也 (了徳寺学園)

▽準々決勝

○森本 合わせ技 村野 (興吉塾)
○山本 腕挫十字固 籠島 (セコム上信越)
●荒平 優勢勝ち 石村 (総合警備保障)
○松原 内股 寺井 (東京消防庁)

▽準決勝

○山本 内股 森本
○松原 背負投 荒平

▽決勝

○松原 優勢勝ち 山本

男子66kg級 ”内柴 体重上げて成功の初V“

両者左組みの相四つ。一昨年優勝、昨年も3位の須藤は2年ぶりV復権を狙う。1分30秒、コーナーで須藤が大外刈りに出たところを内柴うまく身を翻しつつ返して効果ポイントを取り戻したい須藤、なおも前へ出るところを内柴がタイミングのいい一本背負い投げで技ありを奪う。須藤残り1分40秒、大内刈りで挑むが決まらず、逆に内柴が冷静に肩車や寝技などでリードを保ちつつ時間となる。



優勝した内柴選手
(旭化成)

内柴の話 4月の選抜体重別で減量に失敗し、一階級上げての初の大会だったので是非でも優勝したかった。一時は柔道をやめようかと思った時もあったが、周りの方々に支えられて復帰することができた。今回の優勝で66kg級でもやれる自信が湧いたし、講道館杯に向けて大きな弾みとなった。何よりも畳に上がることがうれしい。

【成績】

優勝 内柴 正人 (旭化成)
準優勝 須藤 英雄 (ダイコロ)
第3位 西野 公章 (了徳寺学園)
第3位 関口 幸三 (総合警備保障)

▽準々決勝

●西野 優勢勝ち 本田 (水戸義隆クラブ)
○内柴 腕挫十字固 石川 (東芝)
○関口 背負投 重松 (府中刑務所)
○須藤 内股 江藤 (総合警備保障)

▽準決勝

●内柴 優勢勝ち 西野
○須藤 合わせ技 関口

▽決勝

○内柴 優勢勝ち 須藤

男子60kg級 ”昨年の雪辱晴らし伊藤初V“

昨年は決勝戦で時間後に警告というおまけ付き2位。伊藤にとつて文字通り雪辱を果たした試合になった。伊藤は準決勝でも有効2、効果1、技あり1とワンサイドゲームだったが、決勝も寝技に始まり、組みぎわの一本背負い、巴投げ、双手刈りと多彩な攻め技。中野も右からの奇襲で反撃したが及ばなかった。残り1分16秒、伊藤いきなり右片足を取ってバックに回ったり、右で背負ったり、中野と激しく競り合った。きわどい判定となったが伊藤に赤2本、中野に白1本。



優勝した伊藤選手
(総合警備保障)

伊藤の話 中野君とは初対決だったが、練習で互いに知り尽くしている。投げて決まらなければ寝技のチャンスもあると考えていた。投げる、確実に抑え込む柔道が今後の課題。次は講道館杯優勝を目指し頑張りたい。

【成績】

優勝 伊藤恭規 (総合警備保障)
準優勝 中野真太郎 (セコム)
第3位 漆畑 健 (東芝)
第3位 松本秀彦 (セコム)

▽準々決勝

○伊藤 優勢勝ち 清水 (平成管財)
○漆畑 裸絞 福原 (セントラル警備保障)
○中野 背負投 今田 (自衛隊体育学校)
●松本 優勢勝ち 明石 (総合警備保障)

▽準決勝

○中野 優勢勝ち 松本
○伊藤 すくい投 漆畑

▽決勝

●伊藤 優勢勝ち 中野

男子22歳未満 ”永野速攻の快勝で初優勝“

昨年は優勝した佐々田(ダイコロ)に初戦負けの永野。今回は得意の内股を生かし、快調に決勝進出した。永野左、安達右のけんか組み。開始43秒、奥えりを深く持ち過ぎた安達に片えり指導が行く。安達も払い腰などで技を仕掛けるが、永野余裕を持って動じない。安達にとつては思いも寄らぬ奇襲だったろう。左で組んでいた永野、いきなり177cmの体を洗めるが早いか、右手を伸ばして安達の右足首を取り、高く一気に持ち上げて、残る足を払えば安達たまたらず背中からもどり打って落ちた。1分28秒、朽木倒し一本の快勝。



優勝した永野選手
(三菱重工・名古屋)

永野の話 決勝の安達さんとは初対戦で今日一番苦戦した。朽木倒しだと思いが、特に得意技というわけではない。勝ててうれしい。自分は大牟田高校時代81kg九州2位、国体90kg級の補欠だった。これから色々な大会に出て実績を作りたい。もっと欲を持って練習に励めと指導者に注意されている。これから頑張っていく。

【成績】

優勝 永野稔和 (三菱重工・名古屋)
準優勝 安達健介 (総合警備保障)
第3位 沼田康弘 (東レ・滋賀)
第3位 河原祐也 (ダイコロ)

▽準々決勝

○永野 合わせ技 東濱 (セコム関西)
●沼田 優勢勝ち 羽賀 (セコム上信越)
○河原 優勢勝ち 山下 (富士・名古屋)
○安達 優勢勝ち 戸川 (調子トランプ)

▽準決勝

○永野 内股すかし 沼田
●安達 優勢勝ち 河原

▽決勝

○永野 朽木倒 安達

女子78kg超級 ”初出場不戦優勝の小松崎“

かたずをのむ決勝戦かと思われたが、中野は準決勝の木屋戦で右手小指を脱臼して、無念の棄権。小松崎の不戦勝ち優勝となる。小松崎は、初戦で進境著しい徳田（コマツ）に優勢勝ちしたのが大きかった。



優勝した小松崎選手
(自衛隊体育学校)

小松崎の話 今日一番うれいのは初戦にシードの徳田さんに3-0の旗判定で勝った事。過去に2-1の判定と4月の選抜で投げられて一本負けした相手だったので。中野さんとは高校時代から対戦していて4勝2敗。体育学校のコーチから奥襟を取らせない事や払い腰の体捌きなど勝ち方を教わったお陰。全国女子体重別では優勝を目指して頑張りたい。

【成績】

優勝 小松崎弘子(自衛隊体育学校)
準優勝 中野公洋子(セコム)

▽一回戦

○中野 支え釣込足 福島(タカメタル)
○難波 上四方固 山崎(タカメタル)
●小松崎 優勢勝ち 徳田(コマツ)

▽準決勝

○中野 優勢勝ち 木屋(ミキハウス)
●小松崎 優勢勝ち 難波(ダイコロ)

▽決勝

○小松崎 棄権勝ち 中野

女子78kg級 ”内股技ありで森島も初V“

ともに左の相四つ。栗原は前年の優勝者、裏投げもある。森島は12cm差の長身を生かし、足払い、大外刈りで攻める。1分30秒、森島の内股が技あり。取つてすぐ栗原に返され、下になるが跳ね起きる。森島なおも大内刈りで攻める。栗原3分03秒、左で組んで払い巻き込み有効と迫るが、その後は森島のスピードと内股に阻止され、一発逆転の大技に組みつけなかった。



優勝した森島選手
(セコム)

森島の話 優勝は目標でした。栗原さんは返しがあるので先へ先へと攻めた。今までは内股ばかりだったので、今後は大外、大内など後ろへ倒す技や、立ち技から寝技へ移行する技を身に付けたい。まずは、11月の全国女子体重別で優勝して次のステップにしていきたい。

【成績】

優勝 森島直美(セコム)
準優勝 栗原美幸(コマツ)

▽一回戦

●鶴岡 優勢勝ち 鋤本(OJC)
●道井 優勢勝ち 中尾(早稲田柔道クラブ)
○森島 大内刈 小川(タカメタル)

▽準決勝

○栗原 大外刈 鶴岡(三井住友海上)
○森島 優勢勝ち 道井(綜合警備保障)

▽決勝

○森島 優勢勝ち 栗原

女子70kg級 ”苦しかったと初V、古賀“

左の古賀、右の一見。なかなかの激戦に終始した。互いに慎重、距離を保ちながら足技を出して引き手のチャンスを探る。1分55秒、古賀が引き手を取って内股で効果ポイントを取られた一見は右で奥えり、小外掛けでぐらつかせる。更に頭を下げさせ、大内刈りも狙うが時間切れ。一見には早い展開で下から十字固めのチャンスもあった。しかし、体の回転が利かず逸機した。



優勝した古賀選手
(ミキハウス)

古賀の話 皆に「あなたの試合は疲れるよ。」と言われた。勝って悔しい思いをしたのは初めて。審判に私はまだ戦ってます！とアピールしたほど。あの内股巻き込みも無理やり。橋本先生の声も良く聞こえていた。

【成績】

優勝 古賀幸恵 (ミキハウス)
準優勝 一見理沙 (コマツ)
第3位 貝山仁美 (三井住友海上火災保険)
第3位 中尾春菜 (にしけい)

▽準々決勝

○貝山 腕挫十字固 水野 (TMS)
○古賀 反則勝ち 高原 (OJC)
○一見 優勢勝ち 中澤 (ミキハウス)
○中尾 合わせ技 梅上 (ダイコロ)

▽準決勝

○古賀 優勢勝ち 貝山
○一見 横四方固 中尾

▽決勝

○古賀 優勢勝ち 一見

女子63kg級 ”上野、見事な初V“

上野左組み、前田右組み。開始早々は上野の組み手が攻勢。その左手が前田の口元に当たり、少々の治療タイムを要した。その後は前田が右から組んで出る。上野左体落としの応酬があり、2分55秒ついに体落としで有効を奪う。前田に反撃のチャンスは、そこから寝技のもつれを返し、得意の横四方固めに持ち込むところ。しかし、上野頑張って脱出。立ち姿勢で再開となる。前田は飛びかかるように攻めると上野は足払い、左体落としで応戦。前田その後も得意の組み手に持ち込まず時間切れ、上野うれしい初優勝を飾る。



優勝した上野選手
(三井住友海上)

上野の話 試合前、姉に「緊張するな」とアドバイスを受けた。前半はやや緊張したが、とにかく先に先に攻めようと心掛けた。課題は体落としでも何でもつぶれないで、一本取れるようにする事。目標はアテネオリピック出場。

【成績】

優勝 上野順恵 (三井住友海上火災保険)
準優勝 前田桂子 (ミキハウス)
第3位 南 千草 (ミキハウス)
第3位 徳久 瞳 (三井住友海上火災保険)

▽準々決勝

○上野 合わせ技 鳥入 (セコム)
○南 優勢勝ち 吉澤 (吉岡食品工業)
○前田 大内返 益子 (日本製薬)
○徳久 縦四方固 大田 (コマツ)

▽準決勝

●上野 優勢勝ち 南
○前田 大内返 徳久

▽決勝

○上野 優勢勝ち 前田

女子57kg級 ”岩藤、開始16秒大外刈りで初V“

岩藤163cm、大坪165cmと共に長身で左組み。似たタイプと映る。開始早々、組み手争いから岩藤が左組み、右でえりを取るが早いか大外刈り一発が豪快に決まって、大坪きれいに宙を舞って落ちる。この間たったの16秒。

去年、準々決勝で大坪に勝ち、準決勝で岡崎に敗れ3位の岩藤、うれしい初勝利だった。



優勝した岩藤選手
(三井住友海上)

岩藤の話 同じ会社から世界選手権に3人も出場する。その人達が試合場に来ているので負けるわけにはいかなかった。同じ階級の茂木さんとは稽古は何度もやっていて、投げたり投げられたり。秋の全国女子体重別でも勝ちたい。早く自分の良い組み手を増やすことが今後の課題。

【成績】

優勝 岩藤理恵(三井住友海上火災保険)
準優勝 大坪由紀子(コマツ)
第3位 園田絵里(肥後銀行)
第3位 津野晴美(ダイコロ)

▽準々決勝

○岩藤 大外刈 藤原(ミキハウス)
○園田 大内刈 上村(にしけい)
○津野 小内刈 田籠(タカメティカル)
●大坪 優勢勝ち 冨田(セコム)

▽準決勝

○岩藤 内股 園田
●大坪 優勢勝ち 津野

▽決勝

○岩藤 大外刈 大坪

女子52kg級 ”57kg V 2岡崎、一つ下げても初V“

左相四つの両者。岡崎は昨年57kg級2位だが、今回一つ体重を下げての新天地開拓に挑んだ。

その岡崎、しきりに奥えりにこだわる。奥えりを取っては鳴谷の頭を下げさせ、優位に展開を図る策だ。ポイントにはならないが、岡崎がつぶし、鳴谷が寝技を逃れる場面もあった。残り30秒を切ってから岡崎がバックに回り、肩を攻めて縦四方固めに入るが、鳴谷すばやく脱出。この印象点か、ポイントなく両者3分28秒の注意だったが、旗は3本とも白の岡崎に。



優勝した岡崎選手
(ミキハウス)

岡崎の話 高校2年の選手権56kg級決勝で、1年生の鳴谷さんに2-1の判定で勝って以来の対戦。シドニーの予選で負けて52kg級で残してもらったので、チャンスはあと1回しかない。秋の全国女子体重別でも優勝を目指したい。

【成績】

優勝 岡崎綾子(ミキハウス)
準優勝 鳴谷彩子(コマツ)
第3位 鍛冶宏美(ミキハウス)
第3位 堺 千陽(高宮接骨院)

▽準々決勝

●鳴谷 優勢勝ち 大石(塩谷建設)
○鍛冶 肩固 横澤(アムス柔整)
●岡崎 優勢勝ち 磯崎(塩谷建設)
○堺 巴投 児玉(にしけい)

▽準決勝

●鳴谷 優勢勝ち 鍛冶
○岡崎 大内刈 堺

▽決勝

●岡崎 優勢勝ち 鳴谷

女子48kg級 ”アテネを狙うと、初V濱野宣言“

右組み同士の濱野と藤木。開始28秒、濱野の一本背負いは潰れて下になり、もつれて抑え込まれるがすぐ逃れる。濱野はその後も右背負投げ、双手刈りと終始攻勢を続ける。藤木も反撃のチャンスをうかがうが、自分の組み手になれず両者ノーポイントのまま旗判定に持ち込まれた。主審を含めて赤2本が濱野に、白1本が藤木に。濱野が僅差での初優勝となる。



優勝した濱野選手
(肥後銀行)

濱野の話 自分の柔道が出来なくて納得のいく試合内容ではなかった。小内刈りなどの足技を使って先にどんどん攻めないといけない。次は全国女子体重別で勝って、12月の福岡国際でも優勝して、アテネオリンピックを狙いたい。

【成績】

- 優勝 濱野千穂 (肥後銀行)
- 準優勝 藤木麻理子 (近代クラブ)
- 第3位 遠藤若菜 (秋山オート商会)
- 第3位 三浦多恵子 (タカメディカル)

▽準々決勝

- 遠藤 大腰 山口 (コマツ)
- 濱野 横四方固 末成 (日本大柔友会)
- 藤木 棄権勝ち 中本 (東洋観光)
- 三浦 払腰 渡辺 (日柔整装サービス)

▽準決勝

- 濱野 小内刈 遠藤
- 藤木 合わせ技 三浦

▽決勝

- 濱野 優勢勝ち 藤木

熱戦風景 1



52kg級 岡崎 優勢勝ち 鳴谷



22歳未満 永野 朽木倒 安達



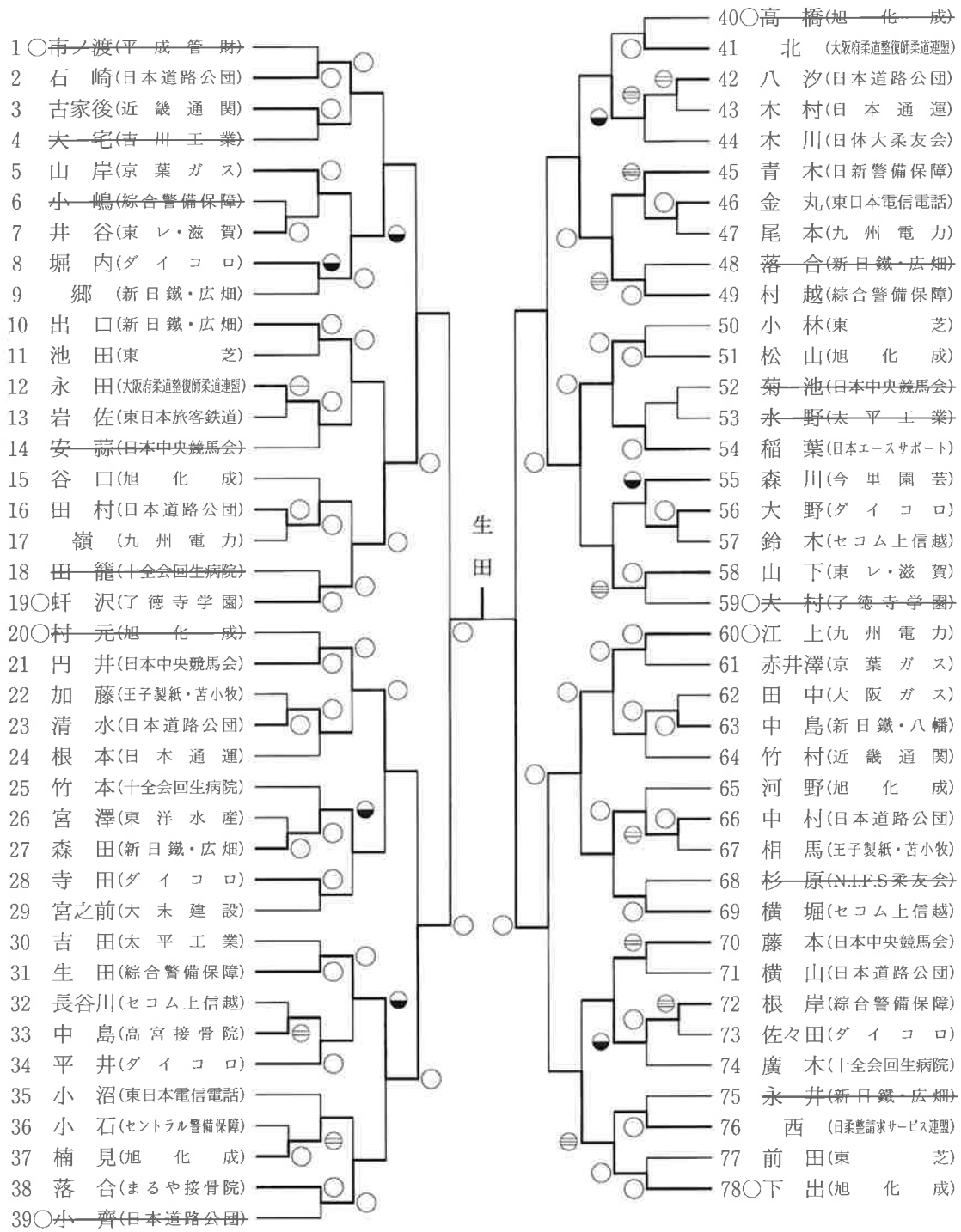
48kg級 濱野 優勢勝ち 藤木



81kg級 野瀬 優勢勝ち 堀内

成績表

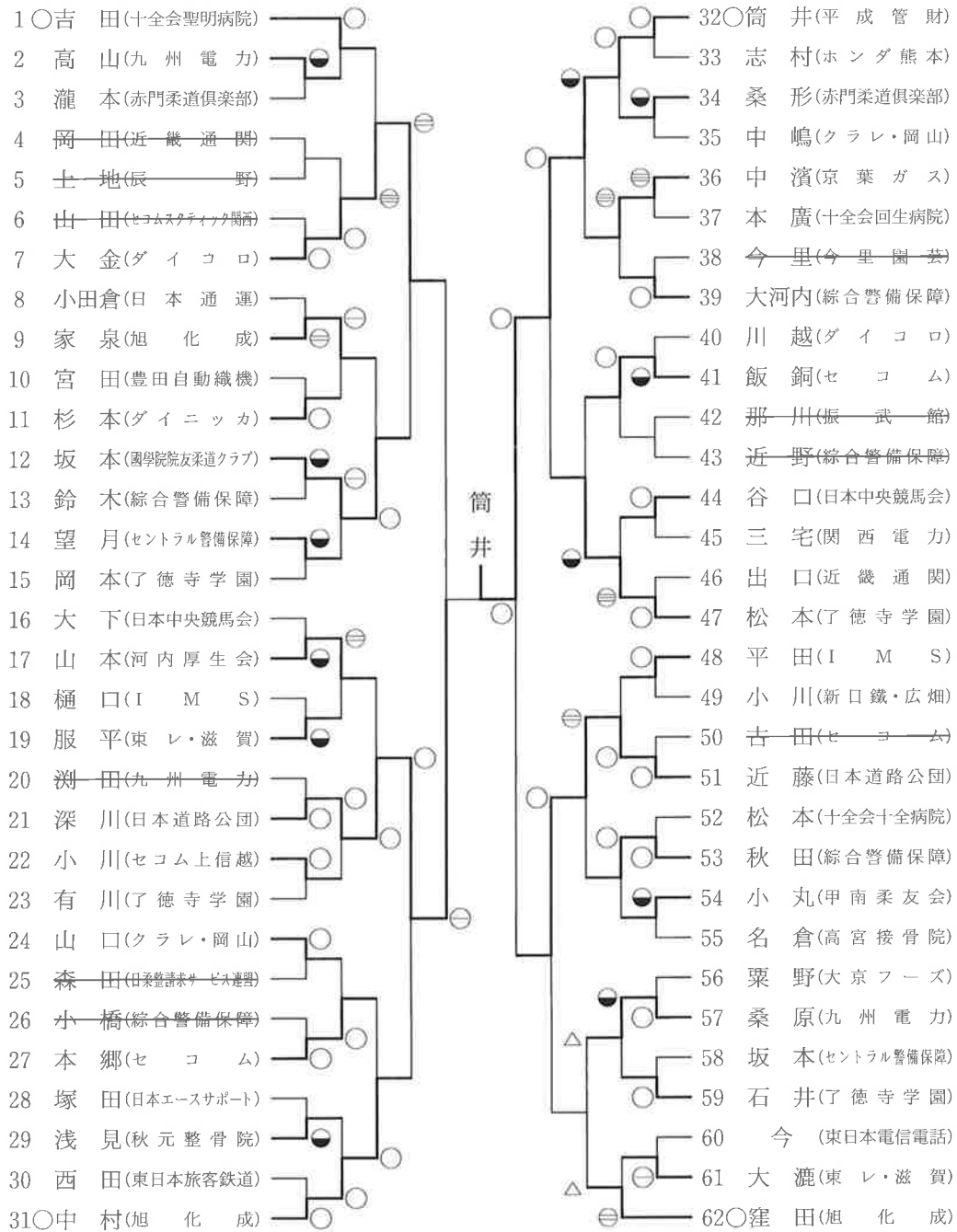
男子100kg超級(78名)



○印はシード選手

成績表

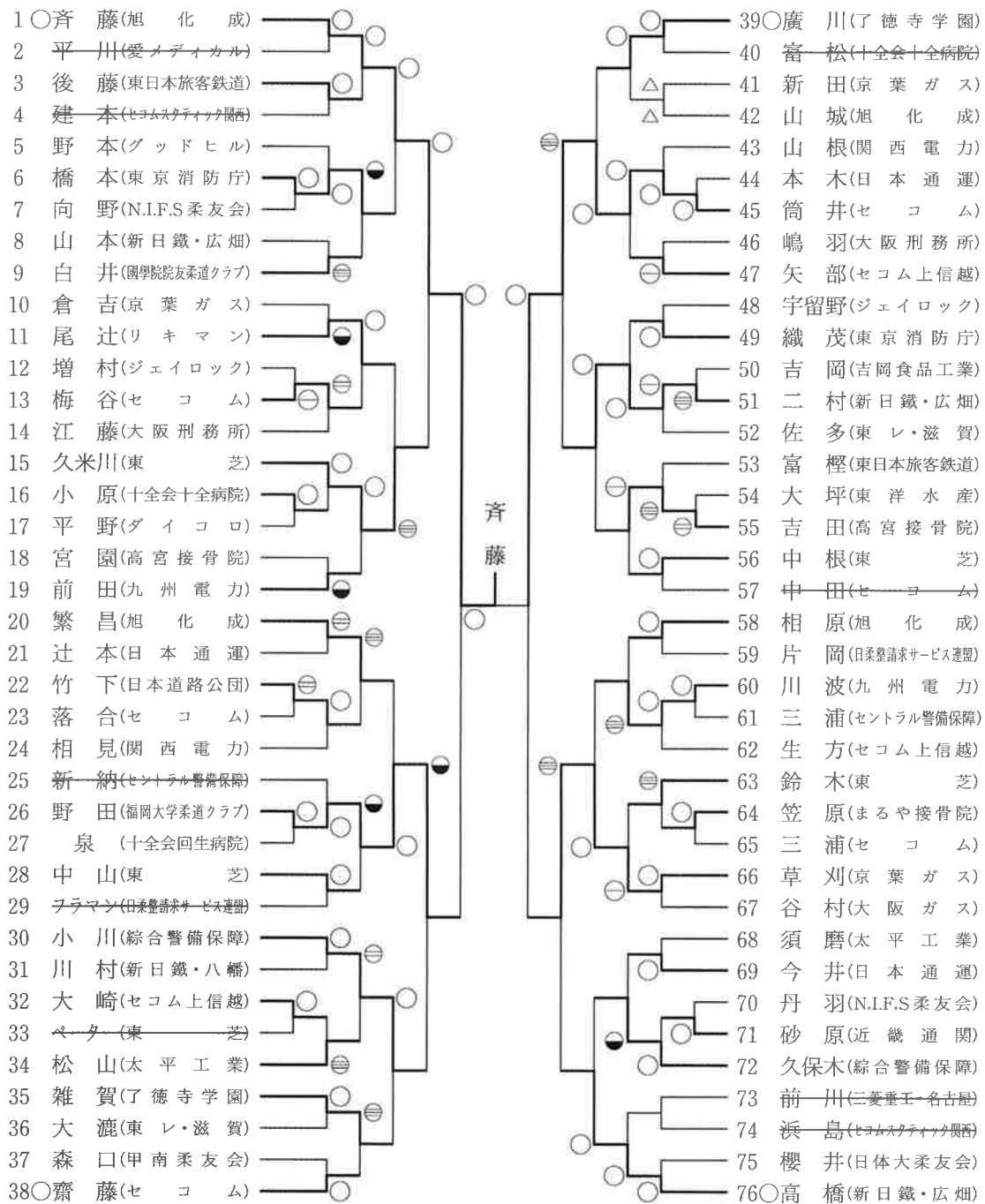
男子100kg級(62名)



○印はシード選手

成績表

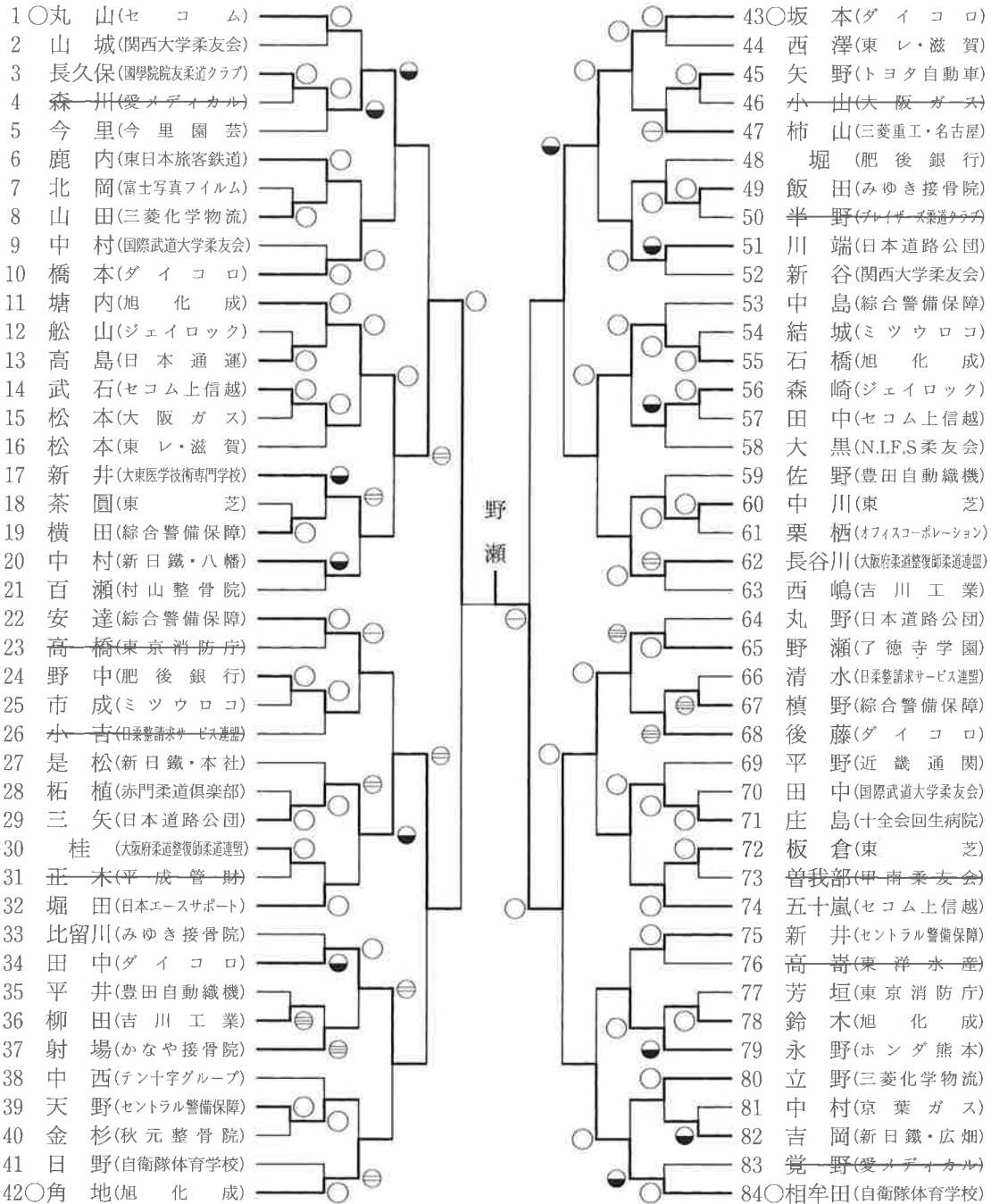
男子90kg級(76名)



○印はシード選手

成績表

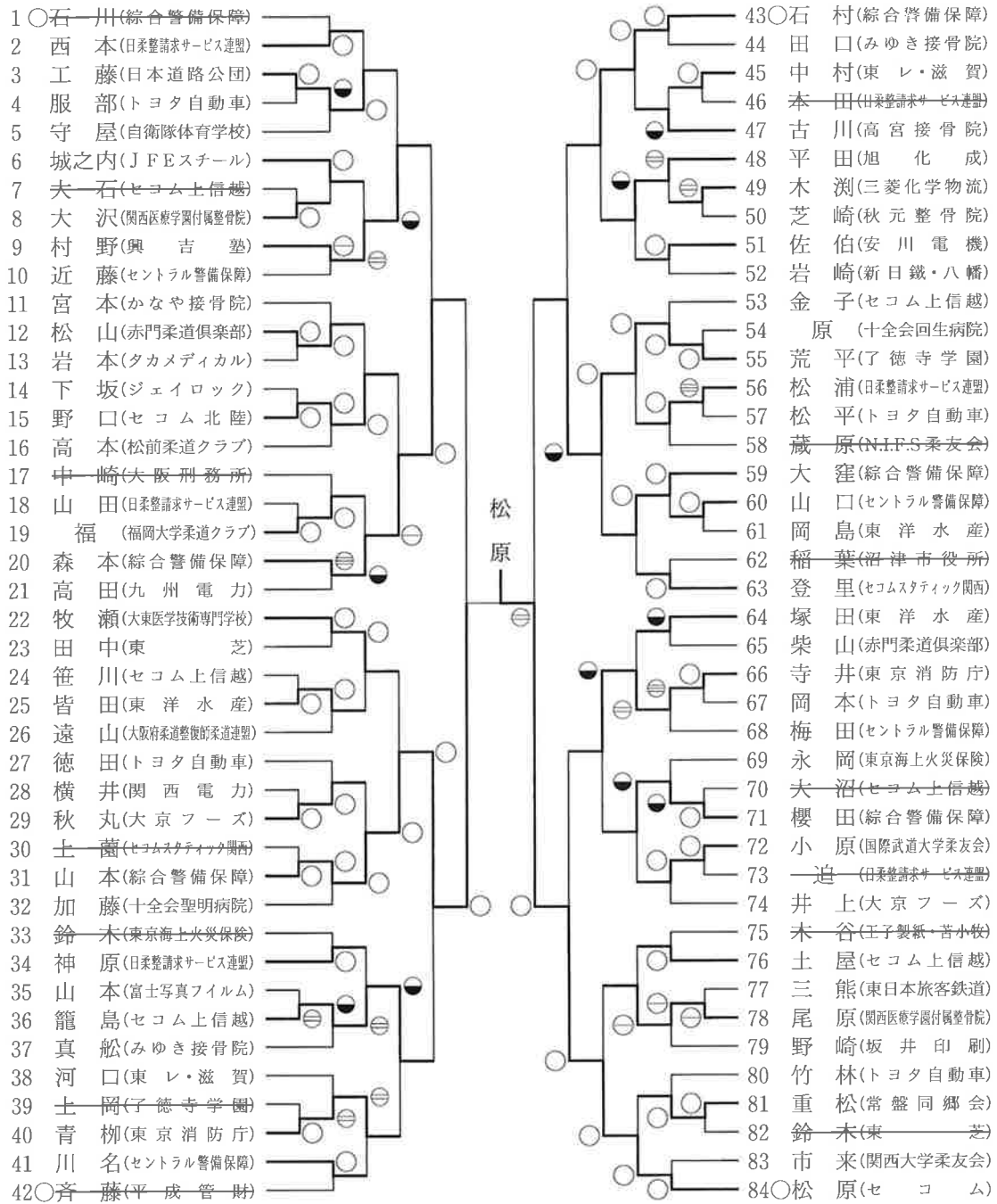
男子81kg級(84名)



○印はシード選手

成績表

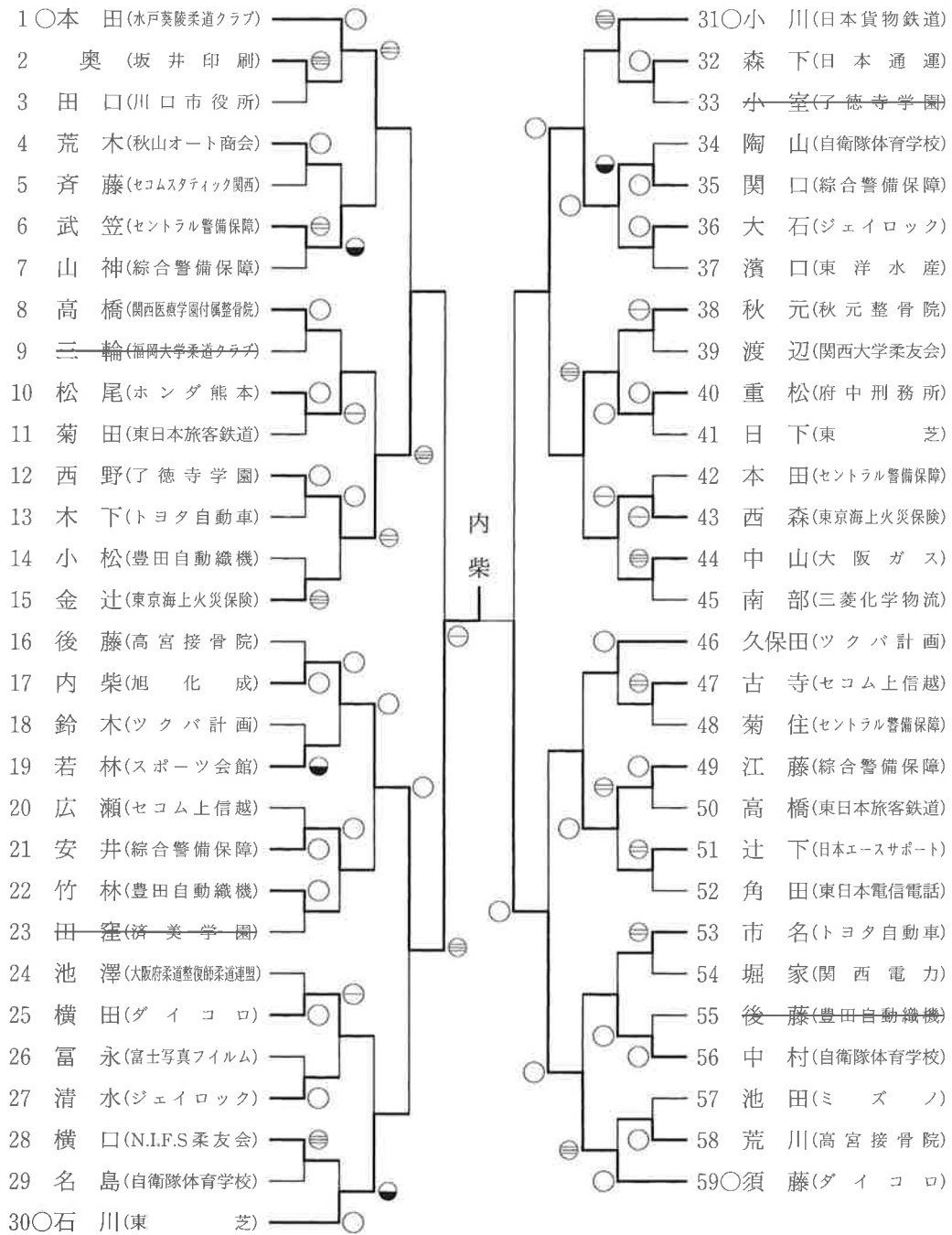
男子73kg級(84名)



○印はシード選手

成績表

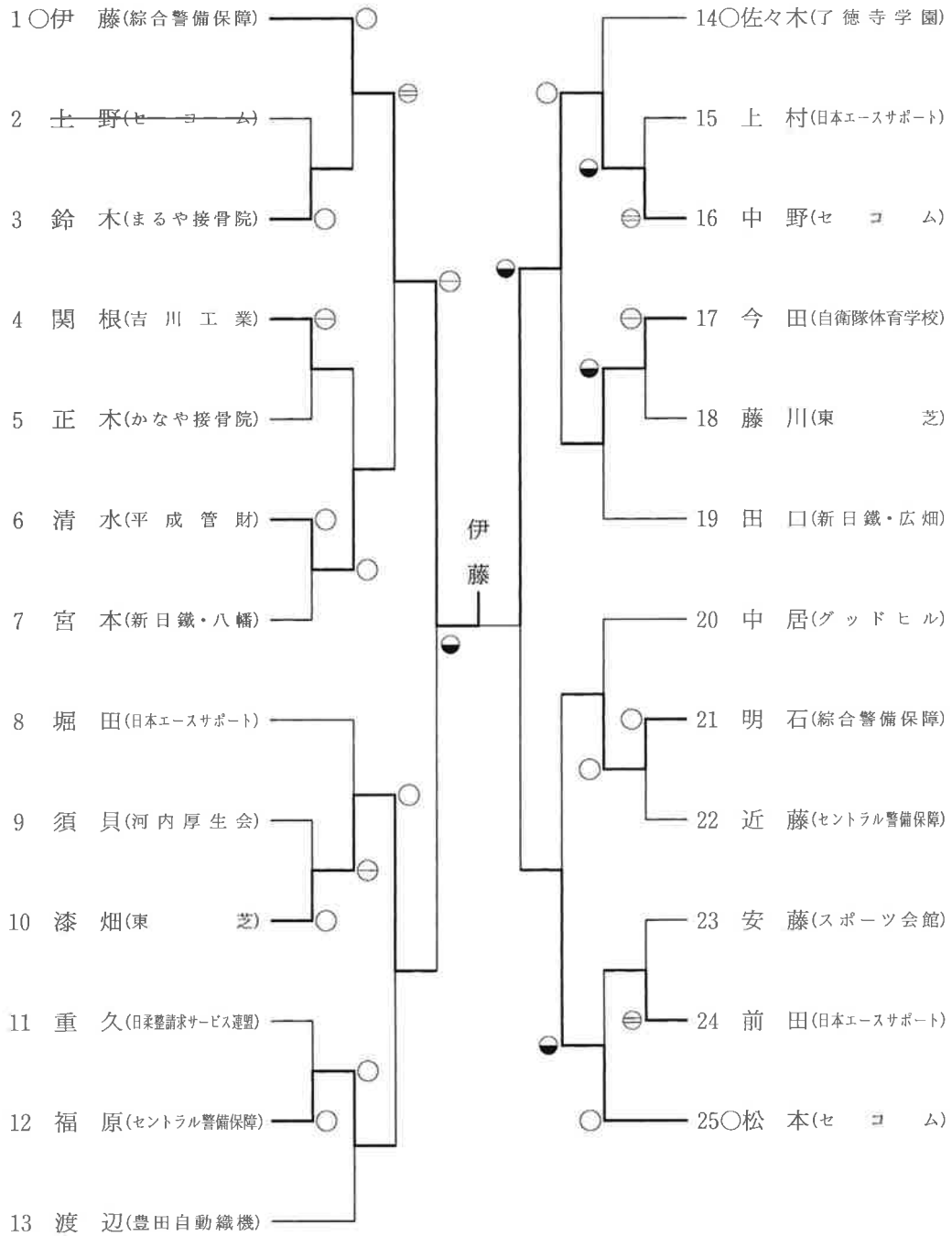
男子66kg級(59名)



○印はシード選手

成績表

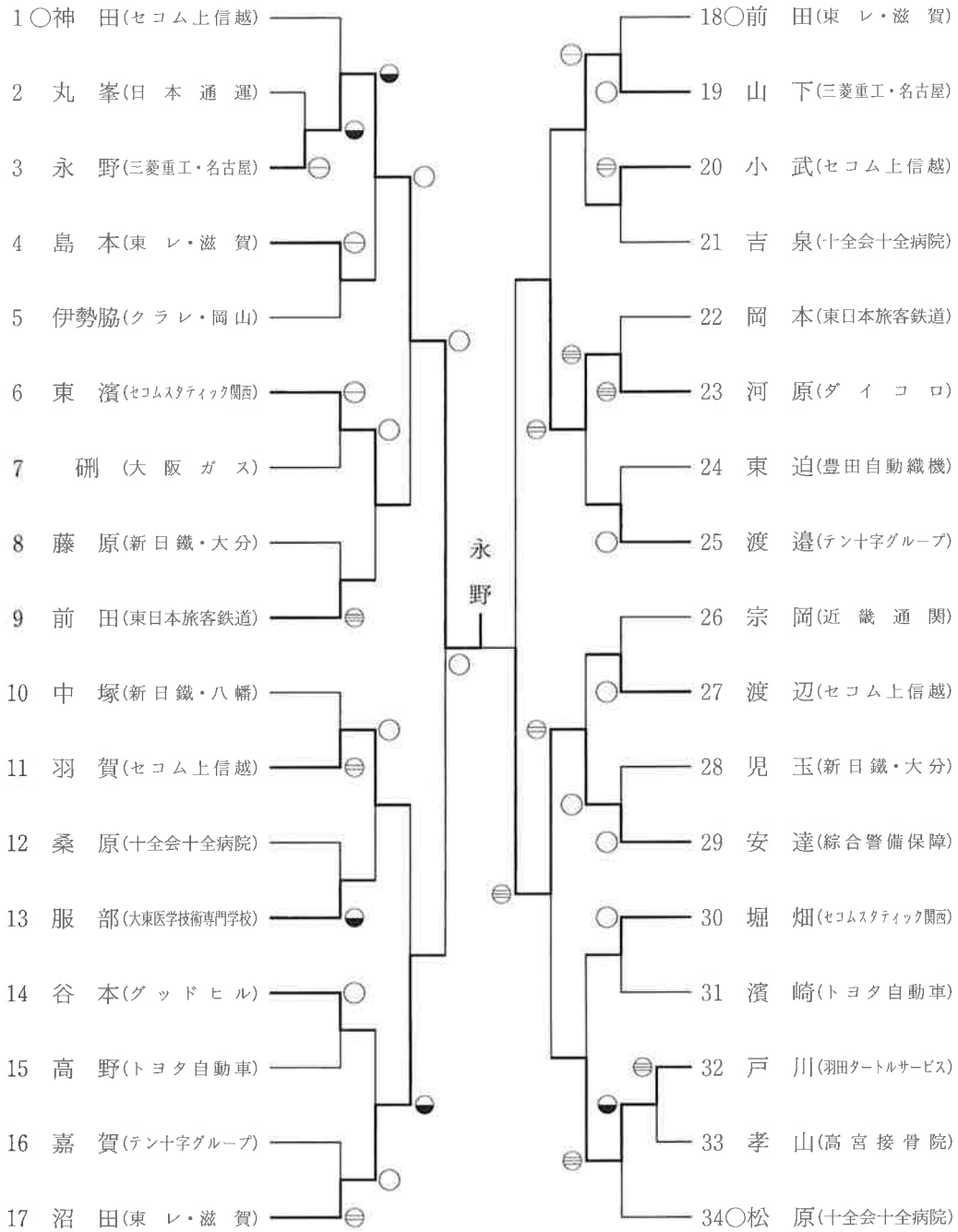
男子60kg級(25名)



○印はシード選手

成績表

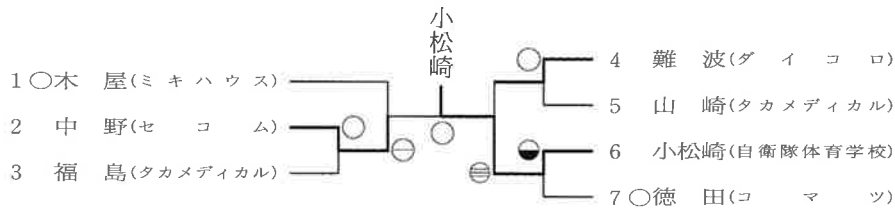
男子22才未満(34名)



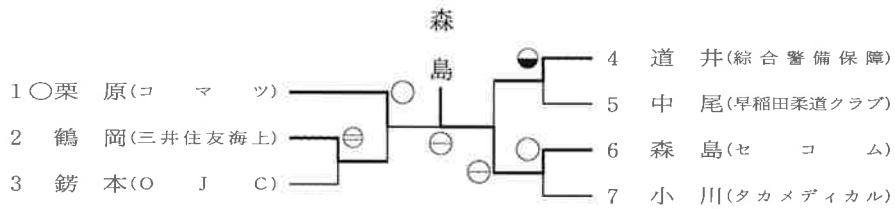
○印はシード選手

成 績 表

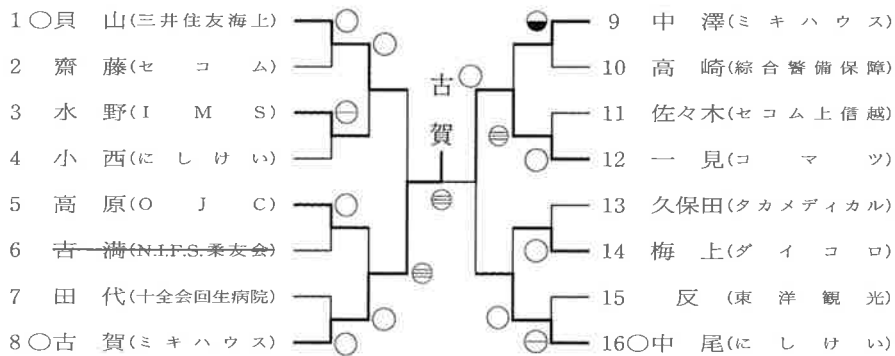
女子78kg超級(7名)



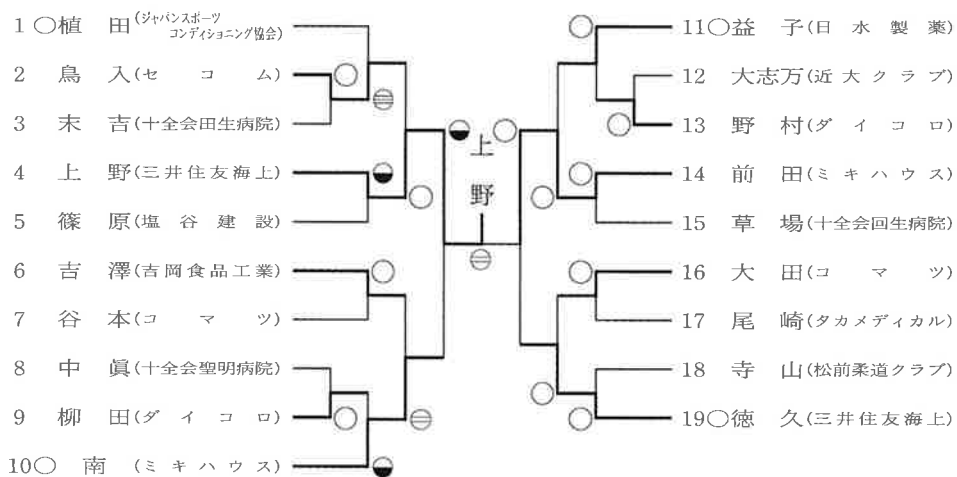
女子78kg級(7名)



女子70kg級(16名)



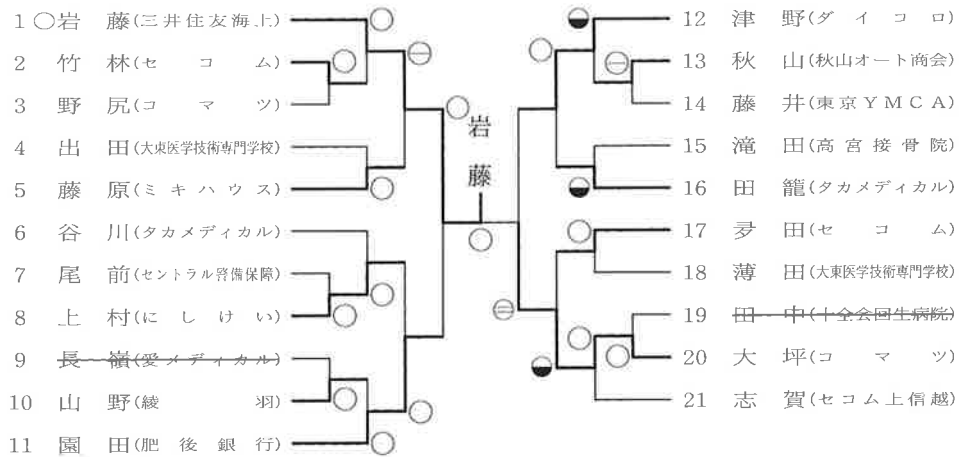
女子63kg級(19名)



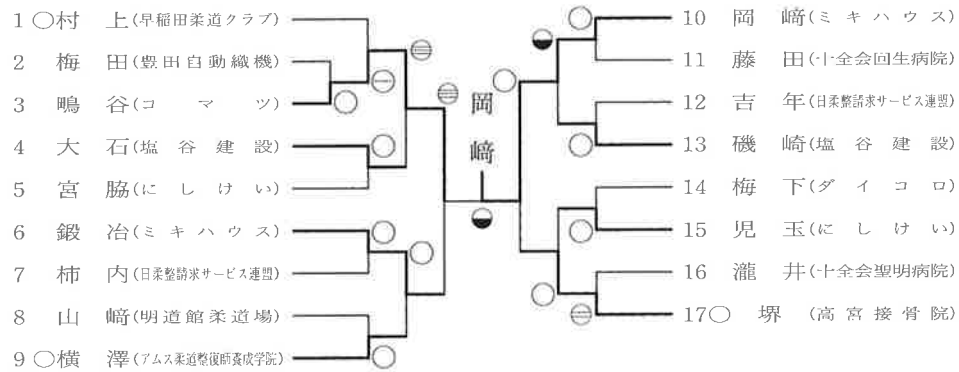
○印はシード選手

成績表

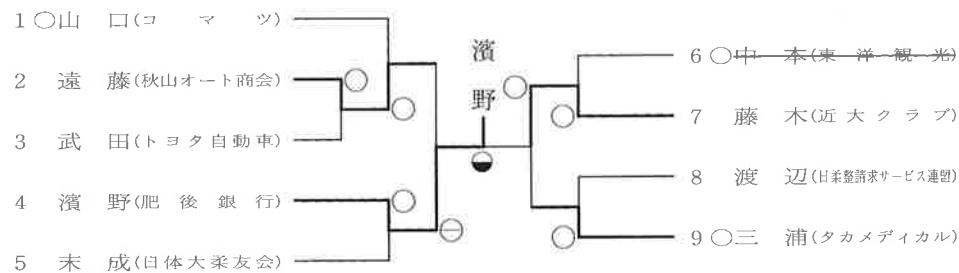
女子57kg級(21名)



女子52kg級(17名)



女子48kg級(9名)



○印はシード選手



90kg級 齊藤 弘腰 筒井



63kg級 上野 優勢勝ち 前田



100kg超級 生田 上四方固 江上



66kg級 内柴 優勢勝ち 須藤

熱
戦
風
景
2

2003年世界柔道選手権大会成績一覧表

(当連盟所属)

9月11日から4日間、大阪市・大阪城ホールにおいて、2003年世界柔道選手権大会が行われた。95年に千葉県で幕張で行われて以来、8年ぶりの日本での開催となり、世界97ヶ国・地域から600名の選手が参加した。当連盟より男子7名、女子5名、計12名が日本代表として出場。連日、テレビ放送により熱戦の様子が伝えられた。結果は次のとおり。

階級	選手名	会社名	成績
無差別	鈴木 桂治	平成管財(株)	優勝
100kg級	井上 康生	総合警備保障(株)	優勝
90kg級	矢岸 雄大	了徳寺学園 職員	3回戦敗退
81kg級	秋山 成勲	平成管財(株)	準決勝敗退(3位決定戦敗退)
73kg級	金丸 雄介	了徳寺学園 職員	4回戦敗退(敗者復活最終戦敗退)
66kg級	鳥居 智男	了徳寺学園 職員	4回戦敗退(敗者復活最終戦敗退)
60kg級	野村 忠宏	(株)ミキハウス	3位
無差別	薪谷 翠	(株)ミキハウス	1回戦敗退
70kg級	上野 雅恵	三井住友海上火災保険(株)	優勝
57kg級	茂木 仙子	三井住友海上火災保険(株)	4回戦敗退(敗者復活3回戦敗退)
52kg級	横澤 由貴	三井住友海上火災保険(株)	3位
48kg級	田村 亮子	トヨタ自動車(株)	優勝

発行日 2003年10月1日
 発行人 全日本実業柔道連盟
 取材協力 事務局長 郷田博史
 印刷 しゃーナリスト 宮澤正幸
 ダイコク株式会社